



2019年2月15日
東日本旅客鉄道株式会社

羽田空港アクセス線（仮称）の環境影響評価手続きの実施について

- JR東日本では、グループ経営ビジョン「変革2027」において「シームレスな移動」の実現を掲げ、お客さまの利便性向上を目指して、当社の鉄道ネットワークを活用し多方面から羽田空港へのダイレクトアクセスを実現する「羽田空港アクセス線構想」を推進しています。
- 本構想の計画ルートのうち「東山手ルート」、「アクセス新線」を対象に、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価手続きの実施に向けた準備を進めてまいります。

1 環境影響評価手続きの実施予定範囲

- ・ **東山手ルート**（約7.4 km）
田町駅付近～大汐線～東京貨物ターミナル付近
- ・ **アクセス新線**（約5.0 km）
東京貨物ターミナル付近～羽田空港新駅



【羽田空港アクセス線（仮称）ルート概要図】



□ 環境影響評価手続きの実施予定範囲
（東山手ルート・アクセス新線）

2 今後の予定

- ・ 現在、環境影響評価手続きの着手に向けて、事業内容や環境影響評価項目、評価方法を記載した環境影響評価調査計画書の作成を進めております。
- ・ 環境影響評価調査計画書の東京都への提出については、あらためてお知らせいたします。